

事業実績書

令和8年3月13日

団体名 綾部バラ会

事業の目的 （何のために行う事業なのかなど、事業の趣旨や目的を記入してください。）	- 綾部バラ園は、市民の憩いの場並びにまちなかの新たな観光交流拠点として認知されている。引き続き地域の観光交流拠点として「日本一素敵なバラ園」を目指しており、バラ園をさらに充実させたい。 - 運営管理については、174名のボランティアの皆様のご支援と献身的な手入れによりバラの維持管理に努めている。
事業の名称	綾部バラ園運営事業
事業費 （市補助金）	1,786,827円 （800,000円）
補助金の使途 （団体活動のどんな事業経費に補助金が充当されるか記入してください。）	綾部バラ園の維持・管理に係る経費に充当
事業実施期日	令和7年4月1日～令和8年3月13日
事業実施場所	綾部バラ園内（綾部市青野町膳所1番地）
事業の概要 （事業の実施方法、内容について記入してください。）	- バラ園維持・管理事業 開園後15年以上経過したバラ園の維持管理において、土壌改良に必要な腐葉土等の追肥を行うとともに、バラの消毒作業等を実施した。 - 綾部バラ会会員の知識向上事業 年間2回剪定教室を開催し、ボランティアとして行っているバラ園管理の知識向上を図った。 - 春のバラまつり・秋のバラまつりにミニコンサートを開催し、またキッチンカー出店等で来園者の増加を図った。 - 他所のバラ園（福井県・三方五湖レインボーライン山頂のバラ公園）へ視察研修を実施して、今後のバラ園の管理運営のあり方について考える機会とするとともに、会員相互の親睦を図った。
補助金の効果(成果) （計画書では期待できる効果を、実績書では得られた成果を記入してください。）	- 本事業を実施することにより、綾部バラ園の評価を高め、その相乗効果として、あやべグンゼスクエアの観光交流拠点としての価値を高めた。その結果、あやべグンゼスクエアは綾部の観光拠点として定着し、まちなかの観光振興とにぎわいの創出並びに、市民への憩いの場として親しまれている。推計来場者数：令和7年4月1日～令和8年2月28日・192,823人 - 綾部バラ園開園以来、剪定教室の継続的な開催により会員のバラ育成技能・知識が向上した。来園者とも交流が出来、綾部バラ園の案内人としての役割が果たせた。

様式第4号（第3条、第7条及び第8条関係）

収支計算書

令和8年3月13日

団体名 綾部バラ会

(単位 円)

収入の部	区 分	予算額	収入済額	明 細
	前期繰越金	0	164,474	
	市補助金	800,000	800,000	綾部市
	補助金（団体）	150,000	150,000	綾部商工会議所、観光協会
	補助金	0	50,000	綾部夢ライト運営協力費
	協賛金	100,000	164,000	個人（3,000×30・他、2,000×22）
	寄付金	200,000	411,289	来園者他
	その他収入	250,000	136,252	預金利息、他
	合 計	1,500,000	1,876,015	
支出の部	区 分	予算額	支出済額	明 細
	事務費	100,000	68,496	通信費、消耗品費等事務費
	研修費	100,000	316,290	
	バラ管理費	1,200,000	1,370,891	消毒、肥料、土壌改良、苗の植替等、ボランティア活動費
	その他管理費	100,000	31,150	その他諸費用
	合 計	1,500,000	1,786,827	
差 引		0	89,188	次年度繰越